

2024年7月31日(水)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

**オリザ油化(株)、「菊の花エキス」「オリザセラミド®」の
PRISMA2020 準拠版システマティックレビューでの
機能性表示食品受理！**

ー尿酸値低下のルテオリン、肌の保湿の米由来グルコシルセラミドー

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市,代表取締役:村井弘道,以下「オリザ油化」)は、菊の花エキス(ルテオリン 10 mg)を配合した機能性表示食品「オリザ 尿酸ケア 2020」(届出番号:J269)、オリザセラミド®(米由来グルコシルセラミド 1.2 mg)を配合した機能性表示食品「オリザ セラミド moist A2020」(届出番号:J299)について、**PRISMA2020 準拠版のシステマティックレビューにて届出が受理**されました。菊の花エキスは尿酸値低下を訴求する素材の届出で PRISMA2020 準拠版が受理されるのは初めてです。また、オリザセラミド®についても、グルコシルセラミドを機能性関与成分とした届出で PRISMA2020 準拠版が受理されるのは初となります。

■届出内容について

①配合素材「菊の花エキス-P」

【商品名】オリザ 尿酸ケア 2020

【届出番号】J269

【機能性関与成分】ルテオリン

【届出表示】

本品には、ルテオリンが含まれます。ルテオリンには尿酸値が高めな方の尿酸値を下げる機能が報告されています。

②配合素材「オリザセラミド®-PCD」

【商品名】オリザ セラミド moist A 2020

【届出番号】J299

【機能性関与成分】米由来グルコシルセラミド

【届出表示】

本品には、米由来グルコシルセラミドが含まれます。米由来グルコシルセラミドは、肌が乾燥しがちな方の肌(頬)の水分を逃がしにくくし、肌(頬)のバリア機能(保湿力)を高めることが報告されています。

■PRISMA 声明(2020 年)について

現在の機能性表示食品はシステマティックレビュー(SR)を行って届出を行う場合、システマティックレビュー報告のための国際指針である PRISMA 声明(Preferred Reporting Items for Systematic Reviews and Meta-analyses Statement)に沿って SR を行う必要があります。機能性表示食品制度開始当初から「PRISMA 声明(2009 年)」に準拠した資料での届出が必須とされていました。しかしながら「PRISMA 声明(2009 年)」が「PRISMA 声明(2020 年)」へ更新されたことで、機能性表示食品においても、令和 7 年 4 月 1 日からの新規届出については「PRISMA 声明(2020 年)」準拠版での SR が必須となります。

この変更に伴い、根拠となる論文の変更はありませんが、より詳細に科学的根拠の質を評価し、SR 資料としてまとめることが求められることとなります。昨今の安全性評価の見直しとともに、科学的根拠の質の見直しを求める声に、いち早く対応できたと考えております。

■オリザ油化の機能性表示食品「PRISMA 声明(2020 年)」準拠版への取り組み

オリザ油化の機能性表示食品の対応素材は 14 素材、ヘルスクレーム数は 22 となっております。これらの素材について機能性表示食品の申請サポートも行っております。PRISMA2020 準拠版についても、令和 7 年 4 月 1 日までにすべての素材でご案内できるよう、順次準備を整えて参ります。

オリザの機能性表示食品素材の現状

14素材22ヘルスクレーム 届出受理！

<p>視機能 (黄斑色素量増加、光ストレスからの保護、コントラスト感度・グレア回復の改善) 認知機能 (判断力、注意力の維持) 睡眠の質 (目の疲労感、精神ストレス、睡眠の質改善)</p> <p>ルテイン(フリー体) 光の刺激から目を保護</p> <p>ルテイン(エステル体)</p>	<p>おなかの脂肪(内臓脂肪)・体重・BMIの低下</p> <p>フコキサンチン</p>	<p>PRISMA 2020</p> <p>尿酸値の低下 目の不快感の軽減</p> <p>菊の花エキス</p>	<p>内臓脂肪・体重・BMIの低下 食後の血糖値上昇抑制</p> <p>生コーヒー豆エキス</p>	<p>肝機能 (血中ALT値の低下)</p> <p>ブロッコリースプラウトエキス</p>
<p>肌の弾力維持</p> <p>トマト種子エキス</p>	<p>LDLコレステロール値・血圧低下</p> <p>えごま油</p>	<p>PRISMA 2020</p> <p>肌の保湿</p> <p>オリザセラミド®</p>	<p>目の潤いサポート 目の疲労感・不快感・肩の負担軽減</p> <p>MaquiBright®</p>	<p>歩行機能の維持</p> <p>黒ショウガエキス</p>
<p>血圧上昇抑制 睡眠の質向上 肌の弾力 抗ストレス・抗疲労 筋肉量の維持</p> <p>オリザギャバ®</p>	<p>活力感の低下を軽減</p> <p>パッションフラワーエキス</p>	<p>血中の中性脂肪・総コレステロール低下</p> <p>オリザの米油</p>	<p>NEW</p> <p>すみやかな深睡眠 睡眠の質 (寝つき、ぐっすり眠れること、眠りが深いこと、睡眠中に目が覚めないこと) すっきりとした目覚め</p> <p>Safleep®</p>	

<補足>

「菊の花エキスは」2014年に痛風予防素材としてルテオリンを10%以上に規格し上市しています。また、「オリザセラミド[®]」は1999年に肌の保湿やバリア機能強化素材としてグルコシルセラミドを3%以上に規格し、食用グルコシルセラミドのパイオニア素材として上市しています。2素材ともに、上市から今日に至るまで国内外の数多くのブランドメーカーに採用実績を誇る製品です。

今回機能性表示食品として受理された2素材の科学的根拠を以下に記します。

① 菊の花エキス(機能性関与成分:ルテオリン)

科学的根拠として、機能性関与成分であるルテオリン 10 mg/日を継続摂取した臨床試験 2 報を採用文献とし、尿酸値が高めの方において、血清尿酸値の改善が認められています。

② オリザセラミド[®](機能性関与成分:米由来グルコシルセラミド)

科学的根拠として、機能性関与成分である米由来グルコシルセラミドを継続摂取した臨床試験 2 報を採用文献とし、肌が乾燥しがちな方において、肌の TEWL の改善が認められています。一日当たりの摂取量については、根拠論文ごとに異なる報告があるため、米由来グルコシルセラミドを 1.8 mg/日摂取、0.6 mg/日摂取の PRISMA2020 準拠版 SR についても届出中です。

